

第21回 苫小牧市公共交通協議会（書面会議）【要旨】

日 時 : 令和2年5月22日（金）～6月3日（水）（書面開催）

《報告事項》

報告第1号：公共交通協議会委員の変更について

- ・北海道中央バス株式会社 五十嵐委員
- ・国土交通省北海道運輸局室蘭運輸支局 佐伯委員
- ・北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部苫小牧出張所 足立委員
- ・苫小牧総合経済高等学校 佐藤委員

報告第2号：令和元年度公共交通関連事業について

- ・新型コロナウイルス感染症による利用減が影響している部分がある。

【市内路線バス】※補助対象外の学生便、臨時便の系統は除く

- ・令和元補助年度の利用者数は、2,630,214人（対前年比233,937人減）
- ・運賃収入は、573,048千円（対前年比32,480千円減）
- ・運行経費は、676,423千円（対前年比1,392千円増）
- ・全体収支は、103,375千円のマイナス（対前年比33,872千円のマイナス増）
- ・系統別補助金は、40系統中28系統に対して北海道と市で56,195千円（対前年比4,496千円減）

【樽前予約運行型バス（樽前ハッピー号）】

- ・令和元年度の利用者数は、17,665人（対前年比599人増）
- ・運行率は、平日で56.1%、土日祝日で44.5%
- ・市からの委託料は、運行経費から運賃収入、国庫補助5,352千円を差し引いた、6,802,677円
- ・樽前予約運行型バス利用促進事業として、樽前小学校に通学する児童に対し、市内路線バスの通学定期券購入代金の1/2相当額を補助。令和元年度は、延べ62人、225,890円を補助

【植苗・美沢地区コミュニティバス（とこバス）】

- ・令和元年度の利用者数は、2,771人（対前年比486人減）
- ・運行率は、56.9%
- ・市からの委託料は、運行経費から運賃収入を差し引いた、6,212,165円

【ユニバーサルデザインタクシー導入支援事業】

- ・令和元年度の補助実績は、市内4事業者、40万円を補助

報告第3号：令和元年度事業報告について

- ・協議会及び分科会の開催状況
- ・公共交通利用促進事業（バスの日イベント、道南バスと高校生等との産学連携事業）

報告第4号：令和元年度決算報告について

- ・バスマップ更新、公共交通利用促進啓発ポスター作成等

報告第5号：令和元年度監査報告について

- ・令和元年度会計収支決算書及び収支状況について監査した結果、帳簿、領収書等、関係書類の処理は適正であり、正確であった旨を報告。

報告第6号：地域公共交通計画の交付申請（書面協議）の結果について

- ・書面協議に諮った、令和2年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業（計画策定事業））交付申請について、同意多数により可決されたことを報告。

報告第7号：公共交通機関（バス・鉄道）の動向について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減少のため、都市間バスの減便、市内路線バスについては土日祝日ダイヤに加え平日は特別便を運行、鉄道については一部特急列車において当面の間減便・減車を実施
- ・道南バス(株)、北海道中央バス(株)において、運行コストの増、さらなる旅客サービス向上のため、運賃値上げを実施

《協議事項》

議案第1号：令和2年度事業計画（案）について

【地域公共交通計画】

- ・「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正（今国会で審議中）に伴い、「地域公共交通網形成計画」から「地域公共交通計画」に名称変更予定。
- ・公共交通ネットワークの再構築を念頭に、令和元年度から2年間で策定予定。
- ・令和2年度は、協議会及び分科会にて具体的な検討を行い、計画策定完了予定。

【公共交通利用促進事業】

- ・産学連携事業（道南バス⇔高等学校、小学校、幼稚園等）
- ・バス待合所施設修繕事業

【苫小牧市公共交通協議会及び分科会】

- ・開催予定について確認

※新型コロナウイルスの影響、事業の進捗状況等に応じて時期変更の場合あり

【その他】

- ・市の事業として、JR 苫小牧駅2階改札前のトイレを改修

議案第2号：令和2年度予算（案）について

- ・令和2年度は、収入、支出いずれも計画策定に関する予算を計上している。
- ・計画策定費用増に伴い、令和2年度予算額が大幅に増加している。

議案第3号：樽前予約運行型バス（樽前ハッピー号）計画申請（案）について

- ・樽前予約運行型バス（樽前ハッピー号）に関して、国の補助事業である地域公共交通確保維持事業を活用するため、地域内フィーダー系統確保維持計画を策定。
- ・国補助を受けるためには、本協議会の承認を経て、国から当該計画の認定を受けることが必要。
- ・補助対象期間は、令和2年10月～令和3年9月（令和3補助年度）
- ・新型コロナウイルスの影響による外出自粛に伴い利用者数が減少しているため、事業目標値は直近の月次（3、4月）実績を元に算出。

議案第4号：JR苫小牧駅内方線ブロック整備事業の事業評価（案）について

- ・内方線ブロックとは、細長い棒状のブロックで、これを既設の点字ブロックの片側に設置することで、自身のどちら側がホームか線路か判別しやすくなる。
- ・昨年度、JR 苫小牧駅のホームに設置した内方線ブロックは、国の補助事業である地域公共交通確保維持事業による補助金を活用して実施。
- ・国補助を活用した場合、事業実施の翌年度に評価を行い、評価内容について本協議会の承認が必要。
- ・JR 北海道、国（上記補助金）、市が1/3ずつの負担で事業を実施。

⇒協議事項について、すべて原案どおり承認

以上